



# 耕心 ～夢追いかけて～

佐世保市立吉井中学校  
学校だより 第46号  
文責 校長 川口 貴晴  
令和3年2月12日(金)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成  
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校  
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



## 特別支援学級三校交流会！



2月5日(金)午前中に吉井北小学校、吉井南小学校、吉井中学校の三校で特別支援学級交流会を行いました。新型コロナウイルスの影響が心配されましたが、当日までご家庭でしっかり感染防止対策をしていただいたおかげで、無事に開催できました。本校生徒は早くからゲームの計画や準備物作りなどをして、交流会を楽しみにしていました。当日は中学生が会の進行や交流会のプログラムを担当しました。自己紹介の後、グループに分かれてゲームを楽しんだりみんなで元気いっぱいダンスを踊ったり、小学生と中学生が一緒になって楽しい時間を過ごしました。

グループに分かれてのゲームでは、赤組と青組に分かれ、みんなで協力して取り組むことができました。表彰式では手作りのメダルをもらいみんなとても嬉しそうでした。笑顔があふれ、楽しい時間となりました。交流会を実施して良かったです。

## 第4回定期テストが終了！

第4回定期テストが終わりました。3年生にとっては、義務教育最後の定期テストでした。テスト期間中に校門で生徒に声をかけると「勉強してきました！」「大丈夫です！」という頼もしい答えがたくさん返ってきました。さて、結果はどうだったでしょうか。

テストは、受ける時も大切ですが、テスト後の処理がもっと重要です。必ず「解き直し」をして、できなかったところをそのままにしないことです。この地道な積み重ねが、1年後、2年後に大きな実力の差となって現れてきます。1つ1つ丁寧に解き直し、わからなければ遠慮なく誰かに尋ね、積み残しをつくらないことこそが、夢や希望進路実現の近道です。Fight！

## 朝の登校風景が少し変わりました

第45号で紹介した「朝の登校風景」が功を奏したのか、登校時間が幾分か早くなったような気がします。特に、8:00以降に登校する生徒は、28人→22人→21人→16人となっています。定期テストがあったため早めに登校して勉強しようという人もいたかと思いますが、よい傾向です。何かしらの課題や改善点が提示されたときに、すぐに行動にできる人は本当に立派です。

繰り返しになりますが、生徒会があいさつ運動をしている時間に通ると多くの生徒に出迎えられて気持ちが良いものです。あいさつをしたり、あいさつを返したり、この当たり前の日常が大切なのです。このような日々の何気ない繰り返しの中で、大切なことが身に付いていくものです。

## 小さなことに気付く感性を！

本校のグッピーを飼育している水槽のライトが壊れたので、新調しました。今度のライトは、LEDライトで輝くような美しさがあります。数名の生徒がそれに気づき、「なんだか明るくなりまし



たね」とか「きれい～」「グッピーも嬉しそう！」などと言って水槽を眺めていました。こういうちょっとした変化に気づき、思いをもてるということがとても嬉しく、大切なことだと思います。学校内外には、人知れず、誰かがみんなのためにと掃除をしてきれいにしたり、工夫したりしていることがたくさんあります。そんな小さなことに気付く目を、気付ける感性を養ってほしいと思います。そして、そんなことに感謝して、「よし！次は自分も！」と思ってくれたら最高です！

ライトの新調にあわせて、事務補助の川崎さんが水槽をきれいに掃除してくれました。水が澄んで、見違えるように水槽がきれいになりました。感謝です！！

## 2月16日から部活終了時刻変更

2月16日(火)から部活動終了時刻が18:00 完全下校時刻が18:15と変更になります。ご確認の程、よろしくお願いします。3月15日まで。

## 乗り入れ授業を行いました！

今年度からスタートした吉井北・南両小学校への乗り入れ授業も残すところわずかとなりました。2月9日（火）には、本取組のよさを取材したいと長崎新聞社からおふたりの新聞記者さんが来られました。英語の授業への乗り入れ授業でしたが、児童は集中していて、とても良い授業となりました。この様子は、2月27日（土）の「メクル」に掲載されるそうです。

また、2月10日（水）には、南小学校で算数の乗り入れ授業を行いました。内容は「データの活用」ということで、ほぼ中学校の授業内容に近いものでした。児童は、データを集めるための「ものさし落とし」を述べ60回行い、そのデータを活用していく授業に楽しみながら参加していました。中学校の授業への不安を少しでも取り除くことを目的の1つに始めた乗り入れ授業ですが、児童は中学校の授業への抵抗感が少しはなくなり、中学校での学びを楽しみにしてくれたのではないかと思います。

いよいよ今年度最後の乗り入れ授業は、16日（南小：英語）と24日（北小：算数）となります。最後まで、楽しい中にも学びのある授業を提供したいと思います。6年生にお子様がおられるご家庭の皆様、どんな感想をもったかお子様に尋ねてみてはいかがでしょうか？よろしければ、中学校にも乗り入れ授業の感想をお聞かせください。今後の参考にいたします。



## バスケット部県大会の結果は……

男子バスケット部の県大会は、1回戦の三重中（実質長崎市の第1位の実力があるそうです）に善戦しましたが47-64で惜敗したそうです。

キャプテンの久保川くんが、校長室に来て、「今回の経験を活かして夏の大会ではさらに上位を目指す」と報告してくれました。チームも人も、今回のように悔しい経験などをしながら成長していくのだと思います。今後の奮起を大いに期待しています。頑張れ！男子バスケットボール部！他のチームも、男子バスケット部に続いていこう！



## 公立前期選抜入試終わる……

今年度から、選抜方法が大きく変更となった公立高校入試の前期が終了しました。この時期になると、入試当日に雪が降らないか、寒すぎないか…と天候にやきもきしますが、今年は、素晴らしい青空で天候にも恵まれ、生徒も自分の力を最大限に発揮できたのではないかと思います。



2月10日までに、本校受検者の結果が届けられました。今年度は、選抜方法の変更もあり、倍率が4倍近くに膨れ上がった学校もありました。多くの高校が2～3倍近い高倍率で、前期については本当に狭き門となりました。しかし、これまでの入試では、前期はいわゆる「推薦入試」で、これもまた狭き門でした。今年度は「推薦入試」がなくなり、全ての生徒に同じようにチャンスが与えられました。しかも、前期が残念な結果になっても後期選抜があるという2度のチャンスがあります。前期で涙を流した人も、なるべく早く気持ちを切り替え、後期選抜に全集中で頑張ってもらいたいと思います。

入試結果を本校まで持参して下さった高校の先生が口をそろえて言っていたのが「合格者とそうでなかった人の差はほとんどなかった」ということと「前期は高倍率でしたが、後期こそはの思いで再度チャレンジしてほしい」とのことでした。今こそ、「**為せば成る！為さねば成らぬ！**」です。

前期で合格を得ることができた人は、後期受検者のサポートをしっかりとお願いします。吉井中の生徒の中には「自分だけよければ」なんて考えている人はいないはずですが、後期受検者が、気持ちよく勉強できる環境、落ち着いて集中できる雰囲気づくりをお願いします。そして、自分自身も今以上に生活面や勉強面を見直し、「合格取り消し」などの悲しいことが起こらないように、さらに気持ちをしっかりと毎日生活をしてほしいと思います。**受検は団体戦です！頼みましたよ！**

## 先生方もがんばっています！

「スマート・スクール・SASEBO」の取組に伴う、同意書等のご提出ありがとうございました。本校にもタブレットが届けられ、いよいよ配付が間近に迫ってきました。本校では、どのようにタブレットを活用すれば、生徒の主体的な学びや深い学びにつながるかを模索中です。先日、ICT支援員の今村さんのご協力を得て研修会を実施しました。この後も研修を重ね、生徒のためになる学習へとつなげていきたいと思っています。



